

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、前車の先に右折待ちのクルマがいる時の危険について考えてもらうためのKYTです。

活用方法

1. 少人数のグループをつくります。
2. 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
3. その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト (カラー・A4版)」は下記 SJ ホームページでご覧いただけます。また PDF ファイルもダウンロード (無料) できます。

ホンダ SJ 検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業 (株) 安全運転普及本部
TEL: 03(5412) 1736 E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

© 本田技研工業 (株)

あなたは前車に続いて直進しています。対向車線には店舗の駐車場に入るために右折待ちをしているクルマがいます。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

Q1

平成 26 年の交通事故件数を事故類型別にみると、車両相互で最も多い事故類型は次のうちどれでしょう？

- ①追突 ②出会い頭衝突
③右折時衝突 ④左折時衝突

Q2

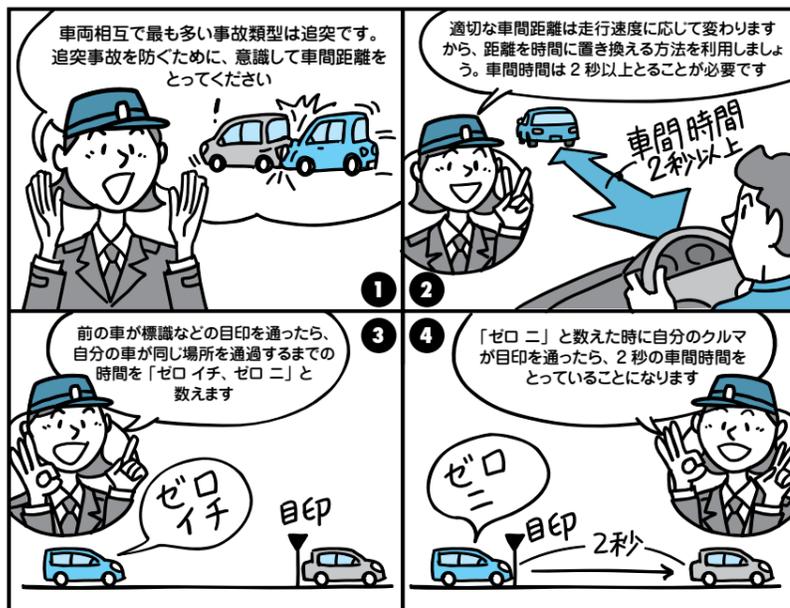
クルマを走行中の前車との車間距離を車間時間に置き換えた場合、安全な車間時間は何秒以上でしょう？

Q3

一般道路における原付以上運転者 (第 1 当事者) の交通事故件数を危険認知速度 (運転者が危険を認知した時点の速度) 別にみると、30km/h 以下が占める割合は次のうちどれでしょう？

- ①約 47% ②約 57%
③約 67% ④約 77%

※「解答」は 8 面下、「解説」は下記 SJ ホームページでご覧いただけます。
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>



© 本田技研工業 (株)

指導者ファイル

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。

29

兵庫県西宮市・交通安全対策課の皆さん

(後列左から) 前野博美さん、野本千依登さん、新見千明さん、山口真理子さん
(前列左から) 越智真貴さん、久米さよこさん、橋本優子さん、前村亮子さん



パワーポイントで作成した教材でわかりやすく、楽しい指導をめざす

西宮市は兵庫県の南東部に位置する人口約 49 万人の都市である。同市では土木局土木総括室交通安全対策課の 8 名が 3 つの地区に分かれ、各地区の交通実態に合わせた活動を展開している。平成 26 年度は幼児、小学生、高齢者を中心に交通安全教室や自転車教室などを 200 回以上実施した。

同市では 4 年前に交通安全教室用にパソコンとプロジェクターを導入。これをきっかけに、パワーポイントを活用した教材を様々な交通安全教室に取り入れている。最初にパワーポイントによる教材づくりを手がけた山口さんは「はじめのうちは、単純なスライドを見せていただけでしたが、徐々に歩行者やクルマのイラストに動きを加えたり、効果音や音楽を組み合わせた、見せ方に工夫を凝らすようになりました」と話す。

そして、前野さん、越智さん、久米さんのチー

ムは幼稚園・保育園での交通安全教室用にパワーポイントを使って教材を作成し、今年度から取り入れた。「どうろのなまえ」「あるところ」「きをつけて」などのパートに分かれており、対象や教室の実施時間に合わせた組み合わせることができるようにしている。「紙のパネルではできない立体的な動きを表現できますから、子どもたちも楽しんで注目してくれています。また、大型のスクリーンを使うことで、多人数でも後方の子どもにもよく見せることができます」と、三人はパワーポイントによる教材のメリットを語る。そして、「これが完成形ではないので、今後も改良を加えていきたい」という。

指導者の皆さんの活動を動画で紹介

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>

●甲子園口幼稚園での交通安全教室



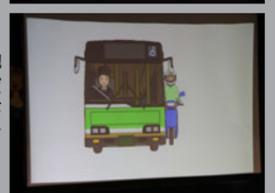
パワーポイントで作成したスライドを使って、子どもにも基本的な交通ルールや安全確認行動を伝える



アニメーションを使って飛び出し事故にいたる過程もわかりやすく示すことができる



歩行者やクルマのイラストを動かして、歩くべき場所を説明



指導の途中では、子どもたちを飽きさせない工夫として、乗り物などのイラストをスクリーンの中で上下左右に動かし、幼児に何が映っていたか問いかける

●踏切の安全な渡り方を身につけてもらうための指導



西宮市では、「線路は続くよどこまでも」の歌に合わせて、身体を動かしながら子どもに踏切の安全な渡り方を身につけてもらう指導なども行っている